

もっと知ってほしい、ザベリオのこと。

本学園では、入学前に本学園の特色をよりよくご理解いただくため、「オープンスクール」「学校説明会」などのプログラムをご用意しております。

オープンスクール・学校説明会

本学園の教育の特色と受験手続き・入試などについて
児童・保護者の方を対象にご説明いたします

2020年10月17日(土)【時間】8:30~12:00

▷本学園に興味をお持ちの児童・保護者の方、
また教育関係者や地域の方々のご来校も大歓迎です。

個別対応学校案内

教育内容のご説明や、
入試前後のお悩みやお困りごとのご相談に
個別に対応いたします

2020年8月29日(土)【時間】8:30~11:30

2020年9月19日(土)【時間】8:30~11:30

2020年10月31日(土)【時間】8:30~11:30

2020年12月5日(土)【時間】8:30~11:30

学園バザー

2020年10月4日(日)【時間】10:00~

▷地域の方・ザベリオに興味のある方も、ぜひご来場ください。

年間を通して、校舎や授業の
「個別見学」を受け付けています。

個別見学やイベントへの
参加申し込みはこちら!



2021年度入試日程

前期入試

入学試験日

2020年
11月21日(土)

願書受付期間

2020年
11月9日(月)~11月17日(火)

【時間】9:00~16:00

※11月14日(土)は受付なし ※日曜日は受付なし

後期入試

2021年
1月23日(土)

2021年
1月12日(火)~1月19日(火)

【時間】9:00~16:00

※土曜日は12:00まで、日曜日は受付なし

※転校・編入については随時受け付けております。
お問い合わせ等がございましたら、いつでもご連絡ください。



学校法人 ザベリオ学園

郡山ザベリオ学園中学校



スクールバス運行

それぞれのニーズにあったコースを多数運行しています。

朝のコース

- 郡山駅
- 東部ニュータウン
- 安積町
- 久留米
- 咲田
- 日大
- 富久山
- 須賀川

帰りのコース

- 郡山駅
- 東部ニュータウン
- 安積町
- 久留米
- 咲田
- 日大
- 須賀川
- さくら通り・方八町

- 富久山
- 部活A・B・C
(部活動所属生徒のための運行バスです)



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

郡山ザベリオ学園では、SDGs(持続可能な開発目標)の理解と達成に向けた学習に取り組んでいます。



きっと見つかる、「なりたい自分」

君だけの成長ストーリー

Surely you will find yourself,
"I want to be!"

郡山ザベリオ学園中学校

2021 学校案内

〒963-0201 福島県郡山市大槻町字古屋敷102番地

TEL:024-952-7756(代) FAX:024-952-7014 Email:chu@xaverio.ed.jp

郡山ザベリオ



きっと、見つかる「なりたい自分」

君には将来の夢や目標はありますか？
「こんな自分になりたい」という願いや思いはありますか？
大人は「夢や目標を持ちましょう」というけれど
なかなか見つからない！
自分はこの先
どのように成長していくのだろうか？
そのために
何から始めればいいのか？
そんな悩みや
不安な気持ちはありませんか？



もしもまだ、夢や目標
「なりたい自分」が見つかっていなくても大丈夫。
郡山ザベリオ学園は
君の声に耳を傾け、「こんな自分になりたい」
「人のために役立ちたい」という思いを
ゆっくりと育て、その実現をサポートします。
大人にむかう、かけがえのない3年間
郡山ザベリオ学園中学校で
君だけの成長ストーリーを見つけてみませんか。

振り返りを通して、新たな自分に気づく!目指すは「成長」を楽しむ自分!

① 成長プレゼン&インタビュー

本学園ではプレゼン型面談を行なっています。

生徒は、「自身の成長・学び」を発表。大人は、質問やアドバイス、励ましの言葉を送ります。

大人の役割は、生徒の考えを深め、意欲をもてるよう応援すること。自己実現を楽しむ「生き方」を、3年間で経験します。

準備は大変でも、自分の宝物に!

入学当初は緊張がありましたが、素敵な仲間恵まれ、段々と自信を持っています。自分の行動を生活・学習面から見直し、今は「皆の手本になれる人」という新たな目標を設定しました。
(公立小学校出身)

目的をもって学校生活を送ることが大切!

私は周りに流されず、気持ちを素直に伝えられるようになりました。成長プレゼンでは、成果と課題を明確にできたと思います。今は「自ら行動でき、自己を律することができる人になること」が目標です。
(公立小学校出身)

生徒会長として責任感をもって!

成長プレゼンは、3年生になる上で重要なものだったと思います。1年生から自分はどのくらい成長したのか、勉強時間は本当に足りているのかなど、自分を見つめ直す特別な機会にできました。「周りのために何ができるか」を考えていきたいと思っています。
(本学園小学校出身)

人のために動ける、余裕のある人へ!

仲間と生活する日々の中で、人の手伝いや気づいたごみを拾うなどの行動を自然にできるようになり、目指していた自分にいつの間にか近づけていたように思います。一人の人間として成長できたのは、これまで続けてきた剣道が大きく影響していたことにも気づきました。
(本学園小学校出身)

保護者の方のご感想

- プレゼンが上達していることに驚きました。
- 自分を客観的に見られるようになったなあ、と感じました。
- 自立は親から頼れる事だけではない、ということを実感しました。
- 思春期とも重なり、親子でじっくりと話をすることが少ないので、貴重な機会となりました。

一人ひとりの個性に応じるチーム指導

②『全員担任制』

学年2級を4~5名の教員がチームとなって担任

教員は得意分野を最大限生かし、生徒の個性に対応

大人と広く関わり、多様な価値観や関わり方を学びます。

誰一人取り残さない世界の実現に向けて

③『SDGs学習』

国際社会共通の17のゴール(SDGs)について探究学習

生徒が互いに理解を深め合う学習会

グローバルな視野で、身近なことから行動できる生徒を育てます。

新しい時代に必要な教育を

④『ICTの活用推進』

学習・行事・委員会などにタブレットやPCを日常的に使える環境

教育支援サービスClassiで生徒・保護者・学校をつなぐ

長期休業や臨時休校には、近況の確認、学習支援など、webで個別対応を行います。

“ザベリオ中伝統の特色”も引き継いで…!

「カトリックの価値観」に基づく教育



温かな関わりの中で育まれる「人と自分を大切に」する心

安心して頑張りたいことに打ち込める、落ち着いた環境

「幼小中交流」による多様な経験



年下との関わりの中で、一人ひとりがリーダーという立場を経験

「大人に近い存在」としての自覚の芽生えにより強く、たくましく

「英語に触れる機会」の充実



公立学校の約1.5倍の授業時数と外国人教員による英会話の授業

学んだ英語を活用する機会を、国際人としての基礎をつくる



「あなたも
あなたのすぐそばにいる人も
誰一人として
他に代えることができない
大切な存在」
ということを
教育を通して伝えたい。

▶教育理念

自分の才能を十分に伸ばし、活かす教育によって、この世界への関心を広げ、自然・文化・歴史のうちに潜む業に感動し、一人ひとりが生かされている現実に感謝・感動し、社会に貢献できる人を育成します。

▶教育方針



自ら学ぶ力

将来の夢の実現に向けて、学びを通して、知識や物の見方・考え方が広がっていくことを実感し、学ぶ楽しさを身につけ、主体的に学習する生徒を育てます。



共に生きる力

思いやりの心と奉仕の精神を持って、多くの人と積極的にかかわりあいながら、活動を通して互いに認め合い、共に生きる楽しさが実感できる生徒を育てます。



健やかな心とからだ

強く、たくましい心、美しいものに感動する心、人の心の痛みがわかり相手を思いやる心を持つ、心身ともに健康でたくましい生徒を育てます。

▶保護者・地域の皆様へ



本学園では、幼・小・中一貫校としての特性を活かし、他者とコラボして学び合い、関わり合う関係を築き「協同的な学び」を教育活動の中に据え、子ども一人ひとりの「個性の伸長」に努めてまいります。

私たち教職員の願いは、子ども一人ひとりが自分の目標を立て自己実現を叶えることです。そして、個性を発揮しながら他者と協同して社会に貢献し奉仕する社会の実践者を育てることが学園の使命であると考えています。そして、教職員一人ひとりが子どもの育ちに寄り添い、レベルの高い教育を提供することで、子ども一人ひとりの豊かな可能性を引き出す努力を積み重ねてまいります。

郡山ザベリオ学園 小・中学校長 佐藤 祐也

▶一日の流れ



～8:10
登校
▼
8:15～8:30
朝読書 お祈り
▼
8:40～12:35
1校時 朝の学活 2～4校時
▼
12:40～13:35
昼食 昼休み 清掃
▼
13:40～15:30
5・6校時
▼
15:35～15:45
帰りの学活 下校
▼
16:05
通常スクールバス発車
▼
16:10～17:20
部活動
▼
17:40
部活動スクールバス発車 ※金曜日は17:30



▶ザベリオ生の出身小学校

【在校生の出身小学校】

地 区	人 数
県北(福島・二本松)	2名
県中(郡山・須賀川・本宮)	38名
県南(岩瀬・白河・石川)	13名
会津	2名
県外(東京・栃木)	3名
郡山ザベリオ学園小学校	111名
全体数	169名

生徒全体の
約1/3は県内外の
さまざまな小学校から
入学しています。

58名/169名

▶ザベリオ生の放課後スタイル

※生活スケジュールは一例です。

たとえば…
部活動に所属するAさんの場合

16:00～17:30	部活動
17:30～18:00	帰りの支度・下校
18:00	帰宅
18:10～19:00	宿題
19:00～20:30	夕飯・家族団らん
20:30～22:30	自主学習 趣味の時間 入浴など
22:30～	就寝準備

ここがメリット
年間を通して部活動は
17:30まで

生徒代表の
コメント!



(本学園小学校出身)
バスケット部と陸上部に入部しています。学習と部活の両立のために、学習前には計画を立て、理解できていないところを徹底して勉強しています。部活動を楽しみながら学習時間も十分にとることができ、充実した生活ができています。

たとえば…
部活動に無所属のBさんの場合

16:00～16:30	下校
16:30	帰宅
16:40～17:00	家のお手伝い 休憩
17:00～19:00	宿題・自主学習 習い事など
19:00～20:30	夕飯・家族団らん
20:30～22:30	自主学習・趣味の 時間・入浴など
22:30～	就寝準備

ここがメリット
高校進学や
将来に向けて
じっくり準備できます!

生徒代表の
コメント!



(公立小学校出身)
家に帰ってから、運動をしたり、塾に行ったりと自分のやりたいことの時間を確保できています。放課後は勉強と運動、リラックスする時間のバランスをとることを心がけています。

▶生徒主体の活動

忙しくなりがちな中学生。「やってみよう!」と思うことに取り組む時間を確保するため、火・木曜日のお昼休みは少し長めの40分に設定しています。



その他にも

委員会活動も生徒が自主的に取り組んでいきます。

公立小学校出身生徒の声

友達と一緒に目標に向かって
努力する力がついた!

入学したばかりの頃は不安がありましたが、授業や行事を通して、信頼できる友達ができ、また授業の学び合いを通して、自分の意見を持って、それを相手に伝える力がつきました。行事も生徒が主体となって行うものが多く、普段からも自主的に行動できるようになりました。

(公立小学校出身)



自ら学ぶ力と 確かな学力

Hello everyone!

ブライアン・オルンバ先生から
—英語を使って「自分と人をつなぐ力」を引き出します—

本学園の英会話の授業では、テーマトークや、1対1のインタビューなど、学んだ英語を実際に使う経験を積むことができます。話すこと・聞くことを繰り返して、みなさんの総合的な会話を高めます。

「どうすれば英語ができるようになりますか」とよく質問を受けますが、私は「英語で何をしたいですか」と答えるようにしています。学習の目的を決めると、英語の学習へのやる気がUPする生徒が多いと感じるからです。「英語の本を読むために!」「趣味について英語で話せるようになるために!」…どんなことでもいいので、1つ目的を決めてみてください。一緒に「英語を学ぶ目的」を探しながら、英語を学んでみましょう!

英語教育

一人ひとりの力を伸ばす
少人数授業

一部の授業では、少人数で授業を実施

オールイングリッシュで授業が進むクラス

日本人教員による支援を受けられるクラス

生徒の個性に応じたクラス編成が特徴!

2冊の教科書を併用

県内で使用されている「ニューホライズン」

首都圏で多く使用されている「ニュートレジャー」

基礎も大切にしながら、応用力を伸ばします!

英語検定への挑戦

学校で英検が受験可能!

面接対策も行います!

準2級以上の取得者 40%以上

(※準2級は高校中級程度)

英語における年間授業時数比較

学年	公立中学校	本校
中1	140時間	210時間
中2	140時間	210時間
中3	140時間	210時間
合計	420時間	630時間

公立校との差 約1.5倍

英会話の授業

英会話の授業では、日常で使える英語を話す機会が多くあります。先生の英語を聞くことでネイティブでの発音に慣れ、リスニング力を高めることができました。ワークシートで筆記力を高めることもでき、英語が1番の得意科目になりました。

(本学園小学校出身)

スキルアップノート

私は単語のスペルや熟語を覚えることが苦手でした。しかし、スキルアップノートの学習方法で練習することで、テストの得点の向上や、英検合格に結びつけることができました。苦手な部分に自分で気づき、学習する姿勢も身につきました。

(本学園小学校出身)

英語レシテーションコンテスト

1年生のときはベストスピーカーに選ばれましたが、2年生では目標を達成することができず、悔しい思いを経験しました。しかしこの経験によって、失敗から学ぶことができるようになり、自分の発音をまだまだ良いものにできるといことに気づきました。

(公立小学校出身)

「学び合いの授業」と「学び方」指導

数学

ホップ・ステップ・ジャンプの問題理解度に応じて課題やクラスを自己選択

思考力を鍛える「ジャンプの問題」

個人で考える、人と協同的に学ぶどちらもOK

わかる瞬間の喜びや感動を味わえるよう指導します!

理科

実験・観察の豊富な授業映像などの視覚教材を豊富に使用

ICT機器や実験器具の整った理科室

実験・観察から、多様な科学的経験を

中学校の学習事項の確実な定着を図り、高校への学びにつなげます!

学び合いでの私の成長

どの教科も一人で学んでいくのではなく、みんなで話し合いをして、じっくりと学んでいくので、達成感が味わえます。一人では考え出せなかったことを教え合ったりしながら学ぶことができています。(公立小学校出身)

学び合いの良さは、お互いの考えを知り、わからないところの教え合いができることだと思っています。自分の考えを伝える、相手の話をよく聞くなど、コミュニケーション力を身につけることができました。(公立小学校出身)

一生使える学び方を、身につけよう

「学習とは何か?」これは、私が生徒によく投げかける問いです。授業を受けること、問題を解くこと…のような答えも考えられますが、これらは学習の「方法」であることを確認しています。学習の本質は、「わからないを”わかる”に、できないを”できる”に変える」などの変化を生み出すことです。しかしながら、「宿題を終えた=学習した」のように、「方法をこなすこと」を「学習した」となりがちです。生徒に学習観を問いつけ、「一生使える学び方」を身につけられるよう導くことも、私たちの大切な役割と考えています。

数学科教諭 星 博之

生徒考案の「学び合いの約束」、その名も…「みんなのルール」!

少しだけ内容を紹介します(2019年度勉強会より)

- どんな意見も否定しないで、その意見の良いところを見つけよう!
- グループの全員が話し合いに参加できる雰囲気をつくろう!
- グループの全員が理解できるよう説明し合おう!

<生徒の感想> みんなが覚えやすく、要点がまとめられたルールをつくることができました。実践してみて、「目を見る・相づちを打ちながら話を聞く」は特に大切です!

ICTを身近に感じる学びの環境

PBL教室で「少人数プロジェクト学習」!

全体がホワイトボードに囲まれた教室があります。昨年度は、生徒相互のプレゼンテーションに積極的に活用しました。

ほかに…

タブレットPC SurfaceGo 40台

学習・生活の自己評価、プレゼン作成にも活用中

全クラス教室、プロジェクター付きホワイトボード

動画やデジタル教科書などを使用した授業

2020年5月からオンライン学習に対応しました。

2020年卒 卒業生進路状況一覧

県外・海外の高校にも対応!

- 市川 ●早稲田本庄 ●國學院大學久我山 ●國學院大學栃木 ●作新学院 ●目黒日本大学 ●Rugby School Thailand 各1名

卒業生の声

元々、私は勉強しない人間でした。そんな私が勉強の楽しさに目覚めたのは、先生に気象予報士になることを薦められたことがきっかけでした。興味を持ったことを深く掘り下げ、目標時間を決めた勉強を徹底しました。私は3年間で、自分の問題に正面から立ち向かう強さと、学びの姿勢を身につけることができました。たくさんの得るものがあったのは、先生方のおかげです。特に理科・数学では、中学の内容を超えた質問にも真摯に答えてくださいました。

2020年卒 市川高等学校 伊山真史さん(本学園小学校出身)



他者を
思いやる心と
共に生きる力



自他を愛する心の教育

—カトリックの価値観から、「自他を大切に生きる」を学ぶ。



生き方を考える時間

聖書の言葉や
偉人から、
自分の「生き方」を探る

心を静め、周りや世界
の人々に関心を寄せ、
想いを深める

聖書の「見失った羊」のお話が心に残っています。「一匹の羊も失いたくない」という羊飼いの思いから、「私たち一人ひとりも、かけがえのない存在である」ということを学びました。(公立小学校出身)



聖書や読み物などを通して、人を思いやる心を学びました。相手の気持ちを以前よりも考えられるようになり、聞いた話や言葉をどう生かせるかを自分で考え、行動することができるようになりました。(本学園小学校出身)



5月聖母月・12月待降節

自然の美り喜び、
思いやりと感謝を
大切に過ごす5月

小さな人々に心を向け、
教会でキリストの
誕生を祝う12月

5月は聖母マリアの御心にならって、優しく、思いやりの心をもって行動することを意識できました。12月は「自分は人の為になにができるか」を考えて実行し、人を想って行動することの大切さを学ぶことができました。



(本学園小学校出身)

卒業生の声

【本学園で学んだこと】

「感謝・奉仕・隣人愛」…感謝の気持ちを持ち、自他を大切にすることを学ぶことができた言葉です。神様からいただいた命を輝かせ、自分の使命を果たすため、社会でどのように貢献できるかを考え、志高く、夢を持ち、不断の努力を積み重ね、意欲的に自らを鍛えて、邁進する力が生まれるように導いていただきました。私は世界に目を向け、自らの行いを通して、人々や社会に貢献することを望み、より良いあり方を追求しながら力強く歩んでいきます。ザベリオ学園でなければ得られない学びがあったこと心から感謝しています。

【中学生の時に大切にしていたこと】

かけがえのない「今」を大切に、何事にも挑戦し、諦めず全力で取り組むこと、学習や部活動、学校行事を通して、常に自ら学ぶ姿勢を持ち続けること。目標を達成するために努力すること、困難や試験に対してもまっすぐ向き合い、解決策を考え行動することが大切です。人間関係の大切さを学び、自分をより高めることが出来るのが学校生活です。学校生活を思う存分やり遂げることは、今後の自分自身の大きな自信と誇りになります。

2017年卒 慶應義塾大学法学部 鈴木木里菜さん

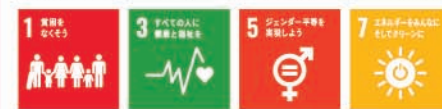


国際理解教育

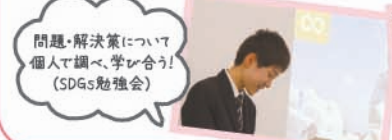
—グローバルな視点で、考える。世界を感じ、体験する。

SDGsの学習

<SDGsとは？>2030年までの達成を目指した国際社会共通の目標です。貧困、健康、ジェンダー平等、気候変動など、17の目標が示されています。



身近な行動を考え、
自ら実行！
周りにも広めよう！
(探究活動・発表)



問題・解決策について
個人で調べ、学べよう！
(SDGs勉強会)

卒業生の声

SDGsの学習を通して

SDGsの学習では「私たちにできることは何か」を考えました。学習したことを自分たちだけに留めず、多くの人に発表し、伝えることができました。直接、誰かの支えになれなくても、自分の行動が、世界の誰かに良い影響を与えられたらいいな、と思います。

2020年卒 早稲田本庄高等学院 西條沙蘭さん



短期留学 (希望者)

オーストラリアへの
1週間の短期留学

ホームステイ・
学校交流で、
学んだ英語を活用！

私は英語の質問にYESがNOしか言えない状態でしたが、ホストファミリーはゆっくりと笑顔で話しかけてくれました。1週間もすると、相手の話を理解できるようになり、簡単な会話もできるようになりました。それがとても嬉しかったです。(本学園小学校出身)



異学年交流を通して、豊かな心を育みます

小中合同清掃(年3回)

小学生とペアを組み、
交流しながら、校舎を清掃

清掃の仕方を教えるなど、
小学生をしっかりサポート



「頼られることへの喜び」を実感し、
リーダー性を育みます！



私の成長
きろく

僕は、自分から積極的にふれあうことを大切にしています。小学生と共通の活動をする中で、リーダーとしての責任感を学ぶことができました。(公立小学校出身)



幼稚園訪問 (中3)

家庭科の授業内で、
幼稚園を訪問

遊びを準備し、
小さい子どもとの
関わり方を学ぶ！



ほかにも…

スキー教室 (中1、小5、小6)

ウィンタースポーツに
親しみ態度と
体力向上を図る！

スポーツでも、
小学生と共に学び合う、
教え合う！

他にも、“ザベリオ”だからこそ体験できること



3年長崎方面修学旅行



夏祭り



学園バザー



以下の行事も小中合同で行なっています

始業式・終業式、マラソン大会、英語レシテーションコンテスト
音楽祭・運動会(小学校行事)への1年生の参加など

行事を通して、他者と“協働”する経験を積みます

輝跡祭

2019年スローガン ～THE BATTLE OF XAVERIO～ 輝跡は待つな、起こすんだ!!

ザベリオ中が最も熱くなる2日間…それが輝跡祭です。合唱やスポーツを通して、仲間との絆を深めます。笑顔と声援の中に、時には涙も。この2日間は、大人への成長過程の「感動の1ページ」として、深く刻まれます。

2019年
生徒企画

Xave1 グランプリ



柔軟な発想で、
歌・ダンス・コントなどを
自由に表現しました。

企画・運営・募集・投票まで、すべてを生徒主体で行った2019年の輝跡祭の目玉企画！

校内合唱コンクール



私の成長
きろく

クラス合唱は、忘れられない思い出の一つです。より良い合唱にするためにクラスで意見を出し合いました。意見がぶつかることもありましたが、それを乗り越えて、クラスがまとまってきました。本番は成功で、みんなが団結できたことが嬉しかったです。(公立小学校出身)



ザベリオスポーツカップ



私の成長
きろく

ザベスポに向けてバスケの練習をしている時から、チームで勝たたいという気持ちがありました。本番はいつも通りプレーできるか心配でしたが、仲間と試合前に話し合ったことで、その心配はなくなりました。チームの仲間と絆を深めることができました。(本学園小学校出身)



オープニング
セレモニー、
文化発表なども



剣道部
全国大会3回出場 新人戦市大会優勝(女子団体)
 本学園剣道部出身者は高校でも活躍!(インターハイ等への出場者多数)



小4～中3までの児童・生徒が、同じ環境で切磋琢磨
剣道を通して、社会に通用する「強い人間」を育成・経験豊富な指導陣



▶ 剣道部の主な大会戦績

- 【2019年度】
- ・福島県中学校体育大会 女子団体 ベスト8
 - ・福島県中学校選抜剣道大会 女子個人 第3位
- 【2018年度】
- ・全国中学校剣道大会 男子団体出場
 - ・福島県中学校体育大会 男子団体 優勝
 - ・福島県中学校選抜剣道大会 女子団体優勝



私の成長 きろく **男子剣道部部長**

先生の教えや先輩たちの姿から行動で示すことを学びました。先輩たちが声を出して熱心に練習に励む姿や、後輩を励ます姿を僕たちも大切にしました。また仲間の成長にも刺激を受けました。仲間との切磋琢磨を通して、成長することができたと思います。

何事にもチャレンジ！僕は部活に入って、プラス思考になりました！

(本学園小学校出身)

私の成長 きろく **女子剣道部部長**

「感謝・努力」この2つが私を変えてくれました。何度も先生方が私たちに伝えてくれた言葉です。今、剣道ができています。大切な仲間ができたこと、努力して強くなったこと。多くの人に支えられてきたこと。全てのことに感謝し、何事にも努力すること。私の意識を一から変えてくれた部活動でした。

今を全力で楽しもう！小学校での思い出も素晴らしいものにしてね！

(公立小学校出身)

卒業生の声

中学生から剣道を始め、「レギュラーになりたい」という強い気持ちで、毎日練習に励みました。2年の夏に全国大会に出場できたこと、そして「人から愛される人間になりたい」という先生の言葉が強く印象に残っています。これから先も、剣道部で学んだ「仲間の大切さ」「辛いことを投げ出さない強い自分」を意識していきたいです。部活動では、「人との関わり」や「人としての在り方」など多くの学びがあります。是非、3年間強い意志を持って取り組んでみてください。

強くなりたいだけでなく、人として成長できました！

2020年卒 安積高等学校 渡部敬太郎さん



平日の活動は月・水・金の3日間、17:30まで
 短い時間の中で集中して活動に取り組み、文武両道で自分を磨く
 生徒の自主性を重んじ、主体性を育む指導

生徒一人ひとりの個性・特長に対応！

本学園では一部の部活動において兼部(例:英語部・特設陸上部など)を認めています。また、それぞれの生徒の特技・特長を生かせるよう、過去には、新体操などの他競技に個人出場し、活躍する選手もいました。

卓球部部長

卓球部に入る前の卓球のイメージは、一人でプレーするということでした。でも実際は、応援してくれる人やアドバイスをくれる人もいて、全員が1つになってつくりあげていくものだ学びました。そのことに気づき、協力的な自分になったと思います。

(本学園小学校出身)

ソフトテニス部部長

先生や先輩からアドバイスをいただき、自分で考えて行動できるようになりました。周りの人が、自ら考えるためのヒント、それを実行するチャンスを与えてくれることがザベリオの良さです。自分の成長の為に必要なことと感じています。

(本学園小学校出身)

バスケットボール部部長

コミュニケーションの大切さを学びました。バスケットボールは、意思の疎通が大切なスポーツです。より良いプレーのためには、自分の考えを相手に言葉やジェスチャーで伝えることが必要不可欠です。そのことに気づき、日常生活でもコミュニケーションを大切にしています。

(本学園小学校出身)

特設陸上部部長

自分に厳しく取り組み姿勢を身につけました。陸上部では、弱心を克服し、「自分に勝つこと」を目指します。そして、記録更新時には大きな達成感を味わうことができます。昨年から部員が倍以上に増え、先輩としての自覚も高まりました。

(私立小学校出身)

吹奏楽部部長

音楽のことだけではなく、人間的にも成長できました。人に感謝する心、挨拶、返事などの社会に出た上で、役立つことを、先輩や先生からたくさん教えていただきました。顧問の先生方、先輩方、部員のみんなには感謝の気持ちでいっぱいです。

(本学園小学校出身)

英語部部長

冷静に判断する力が身につきました。以前、声かけをするときには「～して」のような口調でそれを嫌に感じる人もいたことに気づきました。その後、「～しよう!」と声をかけるようにすると、雰囲気明るくなりました。残りの日々を大切に、もっと成長していきたいです。

(公立小学校出身)

サッカー一部部長

責任感が強くなりました。人生初のキャプテンになったことがそのきっかけです。練習、試合中はもちろんのこと、生活面でも後輩を先導しなければならぬ場面がありました。その責任のおかげで、自分自身を大きく成長させることができたと思います。

(本学園小学校出身)